

經濟論叢

第七十八卷 第三號

地方自治擁護の論理……………島 恭 彦 (1)

線型計画論と技術的補完……………今 川 正 (23)

第一次大戦前におけるアメリカの海外投資……………岡 田 賢 一 (49)

林業專業地帯の実態とその性格……………山 岡 亮 一 (70)

[昭和三十一年九月]

京 都 大 學 經 濟 學 會

京都大學經濟學會役員（五十音順）

評議員長
評議員

（會計委員）

（會計委員）
（編集委員）

（研究委員）

（編集委員）

（研究委員）

中山松前堀穂降平菱豊出田田嶋島靜佐木岸岸小大大岡阿青 中
 村崎岡井川江江積旗井山崎口中杉津 田波原 本本野 野橋部部山 谷
 達武亮 嘉保英文武俊 勇眞 亮恭 宣正 二太一 英隆利 秀
 次雄一清一藏一雄彦彦泉稔藏晴競二彦均平雄郎郎二憲良統夫 質

既刊目次

第七十七卷第六号

經濟政策学の理論的性格……………六月一日發行
 ロイズ船級協会……………豊崎 稔
 マルクスⅡエンゲルスの……………谷山新良
 イギリス革命論(2)……………尾崎芳治
 マルクスとウエーバー……………堀江英一

第七十八卷第一号

農林業課税の問題……………七月一日發行
 マックス・ウェーバーが……………神戶正雄
 考えていた經濟理論……………出口勇藏
 社会政策学の理論的性格……………岸本英太郎
 時系列回帰分析における……………阿部 統
 方程式誤差と変数誤差……………内藤正中
 山陽自由党の組織過程……………武 暢夫
 ジェントリの社会的經濟的性格……………高寺貞男
 アメリカにおける特別償却本質論……………富岡 裕
 ソヴェト社会史の時代区分に……………武 暢男

第七十八卷第二号

世界經濟と經濟学……………八月一日發行
 レーニンの市場の理論……………堀江英一
 為替レート切下げの交……………西川 徹
 易条件に与える効果……………武 暢男
 イギリス革命における……………武 暢男
 農民闘争評價の問題……………武 暢男

う。この意味でこの林業問題研究会が更に次の目標を国有林地帯、共有林地帯へと漸次その調査の枠をおしひろげると共に、更に採草地の意義のな十分に認められるいわゆる「山村」地帯を今一度新たな視角を以て見直してみることが是非必要であると思われる。古い伝統にしばりつけられ、「封建性」の重圧にあえいで来たわが国の農山漁村も一年と衣換えを行って来ている。世界のめまぐるしいばかりの社会経済の変転は直接間接に休みなく、山に海に平場にその影響をあたえつつある現在、社会科学の理論は現實に追いつくことにおわれているのが實状であり、われわれの眼は休むことなく常に現實を直視せねばならない。

このような意味で今なお多くの村で見られる「封建性」と「近代性」のはげしい抗争の中から、過去のそれではなく、次にあらわれものへの前進を、如何に微細なあらわれであろうと見落すことなくとらえることが必要と思われる。「封建性」の諸現象のいわば脱皮作用がたえまなくつづけられている。脱皮され衣換えした「封建性」は一枚その衣をとなれば「近代性」の内實をそなえていることに注目せねばならない。

吉野川上林業の蓄積せられた資本は、「封建性」のうま味を十分吸いつくした後、四国の林業へと西進する。ここでもすでに限界に来た「封建性」のうま味は、木頭林業のチャンピオン

Y氏をして、更に西に眼をむけさせ、九州の熊本、大分等の山地帯に投資対象を移動させようとしている。又四国に渡った吉野林業資本も同じく九州へとその鋭い吸角を差しむけていきいている。資本家的な利潤追求で満足すべきはずの近代林業家は過去の封建的取次のうま味が忘れられず、その対象を九州山地帯に集中して行きつつあるのが現在の状況である。ここでもやがてその限界につきあたるのは眼に見えているのであるが。

執筆者紹介

島 恭彦	京都大学教授
今川 正	香川大学講師
岡田 賢一	京都大学大学院学生
山岡 亮一	京都大学教授

昭和三十一年度

京都大学経済学会大会 予定

(第一日) 公開講演会 十一月十六日(金)

(第二日) 研究報告会 十一月十七日(土)

会員懇親会

※詳細は追って御通知いたします。

宮出秀雄 著

農村潜在失業論

A5308頁
定価五二〇圓

社会政策学会編

産業の合理化と労働問題

A5208頁
定価三〇〇圓

社会政策学会年報

A・トゥーゼ 松岡考見訳

貨幣制度の研究

A5418頁
定価七八〇圓

穂積文雄 著

英国産業革命史の一断面

A5262頁
定価四八〇圓

—ラダイツの研究—

京都 閣 斐 有 京 東

会 員 各位へ
会費は左記あて御納入下さるようお願いいたします。

一、会費納入先

京都市左京区吉田本町

京都大学経済学部内

京都大学経済学会

振替口座大阪五〇五三九番

一、会費 年額 八〇〇円(前納)

一、会員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。

※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

昭和三十一年八月廿五日 印刷
昭和三十一年九月一日 発行
定 価 八 〇 円

編集兼 籾 治良左衛門
発行人

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内東町三九番地
中村 勝 治

発行所 京都大学経済学会
京都市左京区吉田本町
振替口座大阪五〇五三九番

発売所 株式会社 有 斐 閣
株 式 会 社

本 社 東京都千代田区神田
神保町三丁目十七番地
京都支店 京都市左京区北白川
農学部 電 停 前

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 78, No. 3

Sept., 1956

CONTENTS

- A Theory for Defence of
the Local Self-Government.....*Yasuhiko SHIMA*
- Technical Complementary in
Linear Programming.....*Tadashi IMAGAWA*
- American Foreign Investments before the
I World War.....*Yoshikazu OKADA*
- Book Review ; " Forest Zone " Economic Survey
of Mountainous Villages.....*Ryōichi YAMAOKA*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)